

京ヶ峰の四季

第76号

2021年秋号



患者さまが力を合わせて綺麗な虹を作りました! 京ヶ峰倶楽部展作品より

患者さまに寄り添う病院でありたい

私は、昭和51年に精神科ソーシャルワーカー(PSW)として入職して46年目になりますが、本年4月からは事務局への配属となりました。この間に「昭和」「平成」「令和」と年号も変わり、日本の精神保健医療福祉政策も大きく変化しました。そして、当院も積極的に新しい医療やリハビリテーションに力を入れ変わりつつあります。

就職した当時は、現在の院長が、ここ幸田町に新しく病院を移したばかりで、入院患者さんのために、ソーシャルセンターという建物で様々なリハビリテーション活動を行なっていました。私も精神科ソーシャルワーカーとして、患者さんの人権を守り、病院という療養環境をもっと良くしたい、退院支援をしたいと思って日々を送っていました。

患者さんとの大グラウンドでの野球、病棟全員でのキャンプや旅行、家族の思いを聞きながら様々な支援もしていました。昭和50年代から平成の初め頃までは、「働けるようになってから退院してほしい」とのご家族の期待や患者さんの希望を叶えるために、入院しながら職親さんの所へ働きに行く支援などをしていた時期もありました。

平成に入ってから、基準看護を取り、デイケアや作業療法が始まり、薬物療法も進歩しました。制度や法律も変わり、地域には家族会ができ、家族会が運営する作業所もできました。現在は就労支援事業所や相談支援事業所、グループホームも増えつつあります。

この45年間の精神科ソーシャルワーカーとして働き学んだことを基に、これからも当院の基本理念「一人ひとりの患者さまの幸せのために」を心に、患者さんやご家族が安心して治療を受けられる病院、職員が気持ちよく働くことができる職場、地域に開かれた病院を目指していきたいと思います。

京ヶ峰岡田病院 事務局長 竹中 秀彦

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～



コラム

右も左もわからない



医局 森 光瑠

人類のだいたい10人に1人が左利き。



そもそもなぜ左利きというものが生じるのか、なぜ左利きが少数派なのか、未だしっかりとした要因はわかっていないっぽい。とりあえず、大雑把に遺伝的要因が25%、環境要因が75%ぐらいだとか。

遺伝的要因については、最近になって特定の遺伝子変異が少しずつ同定されているようだけど、つまりは複数の遺伝子座が関与しているという意味で、なかなか複雑。

環境要因は上記以外の後天的な要因のことで、かなり色々な説が出てくる。そして矯正という単語は昔から世界のどこにでもあり、この影響はやはり無視できない。

左利きでよくある不便として、「横書きで手が汚れる」とか、「自動改札機を通りづらい」とか、様々なものが挙げられている。先日、「左でボールペンを使うと劣化が早い」というネット

ニュースも見かけた(ペン先を押し込む形になるのが原因らしい)。Wikipediaには他にもやたら細かいシチュエーションが書かれていたけど、自称左利きである私が全く気にした経験がないものも多かった。



私自身は書字や消しゴムが右で、改札は券を右手で持って通る(書字は矯正された記憶がなくて、なぜ右になったか謎。改札は高校時代に試行錯誤した)。あとは大体が左だね……と思っていたら、最近しゃもじも右だと気づいた。おそらく他にも自分の想像以上に何気なく右を使っているんだろう。そういう意味では、「利き手」自体が思いのほか曖昧なものにみえてくる。環境要因が75%という数字も、個人的にはまた絶妙に半端だと感じてしまう。

左利きがどうかはともあれ、世の中では以前よりもマイノリティ(少数者)が取り上げられるようになった。それ自体は必要な議論だ

けど、マジョリティ(多数者)とマイノリティの間ぐらいの、実は「どっちつかず」も多いはず(マイノリティの定義の問題といってしまうとそれまでだけ)。なんというか、そんな白黒つかない曖昧さをもう少し許容できるようになれば良いなと思う。

定義といえば、海外では手段によって左右を使い分ける人を「クロスドミナンス」といって左利きと区別するよう。多分日本ではあまり定着してなくて、むしろ「両利き」とみなされているかもしれない。この文章を書きながら、インターネット上の左利き診断サイト(そんなサイトの存在もさっき知った)をいくつか適当に使ってみたところ、私は左利きではなくクロスドミナンスらしい。今更そう言われても困る。

今はしゃもじも左で使っている(すぐ慣れて正直ほっとしている)、曖昧さに甘えて、私が左利きと自認するぐらいは許して欲しい。



病院TOPICS

令和3年度外来投薬待ち時間調査のご報告

外来患者さんの利便性の向上を目指して、当院では毎年「外来投薬待ち時間調査」を実施しております。今年度は8月16日(月)～21日(土)の期間に実施いたしましたので、ご報告いたします。

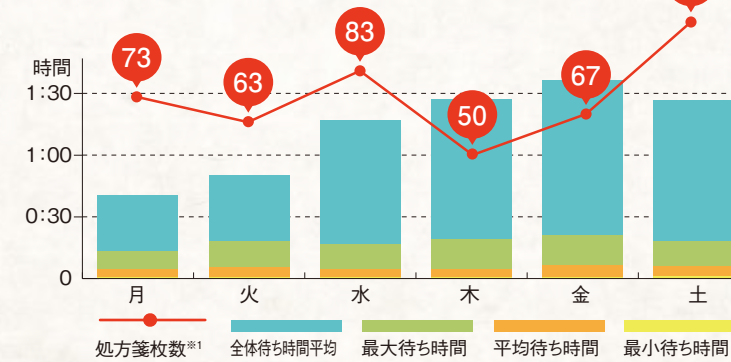


■今年度調査結果

日付(令和3年)	処方箋枚数 ※1	平均待ち時間	最大待ち時間	最小待ち時間	全体待ち時間 平均	平均投薬日数	合計調剤数
8月16日(月)	73	0:07	0:14	0:01	0:46	30.6	442
8月17日(火)	63	0:08	0:21	0:01	0:54	29.4	令和3年度平均 待ち時間
8月18日(水)	83	0:07	0:20	0:01	1:00	27.4	0:08
8月19日(木)	50	0:07	0:24	0:01	1:13	24.5	全体待ち時間
8月20日(金)	67	0:10	0:24	0:01	1:26	27.7	1:06
8月21日(土)	106	0:08	0:20	0:02	1:15	28.5	

※参考資料: 令和2年度平均待ち時間0:09、全体待ち時間1:04 ※1: 老人施設・職員除く

■令和3年度調査結果



※1: 老人施設・職員除く

■令和3年度 考察

今年度の外来投薬待ち時間は平均8分となり、ここ数年10分以内を維持しております。これまでの時間短縮のための対策が機能していると思われます。今後、外来投薬最大待ち時間を短縮できるように工夫をしていきたいです。

今後ともより良い医療サービスを提供するため、調剤過誤の無いよう確実な調剤を心がけ、信頼される薬局を目指して職員一同取り組んでいきます。

こぼれ話

What's ボッチャ?

みなさん、ボッチャというスポーツをご存知でしょうか? 東京パラリンピックでの日本人選手の活躍が記憶に新しい方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

ボッチャはイタリア語のボールが語源で、重度脳性まひ者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたヨーロッパ発のスポーツです。

赤青白3色のボールを使用し、ジャックボール(白)に向かって1チーム6個のボール(赤または青)を投げ合い、自分のボールをジャックボールに近づけたほうが勝者となります。チーム分けは1対1(個人)、2対2(ペア)、3対3(団

体)で行い、男女の区別はありません。手で投げる事が出来なかったら足で蹴ってもいいし、「ランプ」と呼ばれる滑り台のような投球補助具(勾配具)も使用できます。自分の意思を競技アシスタントに伝えることが出来れば、サポートを受けて参加することもできます。

ボッチャは老若男女、障がいのある人もない人も一緒に楽しめるスポーツとして当院のレクリエーションでも行われています。みなさんもこの機会に、遊びにボッチャを取り入れてみてはいかがでしょうか?





行事紹介



京ヶ峰倶楽部展 ● 6月23日(水)～26日(土)

第16回京ヶ峰倶楽部展を開催いたしました。今年のテーマは「彩り(いろどり)」。その名の通り、彩り豊かな作品が集まりました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、昨年同様、ソーシャルセンター内京ヶ峰ホールでの開催となりましたが、塞ぎがちになる気持ちを彩り豊かに変えてくれました。



デイケア

じゃがいもの会 ● 6月30日(水)

デイケアでじゃがいもを育て、収穫し、みんなで話し合いをして「カレーライス」「ジャーマンポテト」を作って食べました。「じゃがいもがホクホクしていて美味しかった」「大きな鍋で作ったので、いつも作るカレーより美味しかった」と大好評でした。



七夕納涼会 ● 7月7日(水)

今年も京ヶ峰ホールにて開催され、約200名の患者さん、職員が七夕の願い事を書いたり、かき氷を食べながら過去の夏祭りの映像を見たり、ジャンケン企画を設けて暑い夏の季節を感じながら涼みました。



中央4病棟 希望食

● 8月20日(金)

お品書き: カツ丼、すまし汁、二色パバロア



葵3・4病棟 希望食

● 9月29日(水)

お品書き: 豚肉の味噌漬焼き、小松菜炒め、切り干し大根の辛し和え、チョコバナナパフェ



ナイトケア

花火 ● 9月27日(月)

スマイルの駐車場にて花火を行いました。花火ができる場所が限られている中、毎年花火を楽しみにしている人が多いです。この時期の花火は涼しく、最後は院内保育の園児たちも参加し、秋を感じながら楽しみました。

「第3回京ヶ峰ふれあいまつり」のご案内

昨年同様、新型コロナウイルス感染予防により、web上での開催となります。新病棟&当院活動紹介動画、「感謝の虹」の掲示、ふれあい川柳の3つの企画を用意しています。詳細については当院ホームページをご覧ください!



● ふれあい川柳 作品募集 ●

川柳のテーマは問いません。事前にお配りした応募用紙に必要事項記入の上、当院までFAX、又は外来に設置した投函BOXに直接ご応募ください。その他にもメールでの応募も受付けております。

- 募集期間 / 10月1日～10月31日
- ■ FAX: 0564-62-9338 ●
- メール: senryuokada@gmail.com

おすすめコーナー

「編み物」

コロナウイルス感染症が流行し、家で過ごす時間が増えました。私は趣味の編み物をする時間が増え、友人の出産祝いにスタイやヘアバンド、昨年生まれた甥へ服を、姪にバッグを作ったりしています。現代では手軽に服など購入することが出来るため、自分の手で身に着けるものを作る喜びというのは価値のあることだと思います。編み物にあまり縁のない人からすると、細かい作業でとても疲れるのではないかとと思われるかもしれませんが、一目一目集中して編むことで自然と無心に

なれてリラックスに繋がります。欧米では「ニットセラピー」という名称でも呼ばれ、日々緊張感が続きストレスが多い人に推奨されているとのこと。とにかく目の前のことに集中することで何も考えない無心の状態が、瞑想をしている時と似たような精神状態になるそうです。これから寒い季節になるのでニットを編んでみてはいかがでしょうか。

中央2病棟 上田知恵

※次号は医事課の日比野さんが担当します。よろしくお願いいたします。



編集
後記

東京五輪大会が閉幕しました。1年遅れで無観客、自国開催としては少し残念なところもありましたが、日本のメダル総数はオリンピックが過去最多58個、パラリンピックは過去最多のアテネ大会52個に次ぐ51個と大健闘。がんばった選手の方々を称えたいですね。

広報委員 松原



京ヶ峰岡田病院

〒444-0104 愛知県額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔8
TEL (0564) 62-1421 FAX (0564) 62-9338
ホームページ www.kyogamine-okada.com

